

菅は壊し屋

相手の返り血を浴びる程の距離で、自分自身をさらけ出して自らも傷つく覚悟をもって本気のコミュニケーションをする。そこから、新たな関係が築かれる。菅は逃げた。

常識というのは、今を支配している人達が決めているものである。

従って、新しく何かをする。

成し遂げるといふことは、究極的には常識をぶち壊さない限りやったことにはならないし、またやれない。

周りの支配者達は、果敢な何をやるかわからないブレない挑戦者をもっとも恐れるものである。菅の動揺は痛いほどTVでも読み取れる。

新しく出ていくものが無謀をやらなくていったい何が変わるのだろうか。

民主党クーデターの菅直人氏、渡部恒三氏、仙谷由人氏、岡田克也氏、野田佳彦氏、前原誠司氏、枝野幸男氏、玄葉光一郎氏の八名の対米従属は日本の未来に本当に必要でしょうか。

①小沢一郎氏の代表選への出馬を妨害するマスコミの情報攻撃 ②敗色濃厚の菅直人首相によるSOS発信 ③代表選実施阻止を画策した仲介者の動きである。マスコミが代表選実施阻止に向けての情

報工作を展開したのは、代表選での小沢一郎氏当選が確実視されるからである。

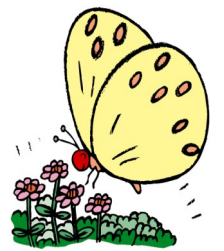
男も女も度胸



経営者（製造業）は円高で夢をなくしている。日本は豊かになつたのに、娼捨て社会。弱者を守れ・らない時代。家族を幸せに出来ない社会。

経営者で成功者は、向上心がある。打たれ強いものである。いつも目標がある。準備と計画がある。楽ばかり求めていない。

経営の能力は規模を定め、物事をおこなう行為である。組織、手順、利益を考えることである。自分の能力に対して夢を持っている人です。



行動力が絶対必要
決断力が決定力が
吸引力が
指導力が
個人的魅力が
の5つが成功者に必ずある。
道なき道を行く、チャレン
ジして行く。

何事にも恐れぬ。

苦しい環境が必ずある。
度胸が必要である。

勇敢な度胸に人はついてくる。

厳しい、耐える抵抗力がない。

逃げると苦しみは必ずモン
スター化する。

恐怖や不安が芽生える、こ
れは行動することで超えら
れる。回避しない限り成功
できる。

絶対に負けない。度胸が、
くじけない心が、成功する
経営者。自分を作り直す。

西郷隆盛

菅首相は1日夜、東京都内で開かれた民主党の野田財務相グループの会合で、「明治維新には西郷隆盛の力が必要だったが、西郷さんにはああいう（西南戦争で敗れて自決する）末路をたどった。西南戦争があつて、本格的な明治政府ができた」とあいさつした。

出席者の間では「小沢氏を西郷隆盛に、西南戦争を代表選に例え、政権交代が実現した以上、小沢氏はどう不要だと指摘した」と受け止められている。

（2010年9月1日 読売新聞）
小沢本人は、情の西郷より小松帯刀（たてわき）を尊敬している。

新聞マスコミ等の世論調査（下請け）とネット調査は完全に逆だ。内閣官房費（機密費）が流れている証明？。噂ですがNHKで首つり自殺した人もいた。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2010年9月6日（月）NO 142

地域から明るい未来を作ろう